

## 2 『「南丹」ではダメなんです。「京都丹波」じゃなきゃ』の実施 名付けてヤドカリ作戦

南丹広域振興局企画総務部

### 【概要】

○「京都丹波」を積極的にPRするため、地元の若者中心のボランティア組織を5月に立ち上げ、主に国民文化祭の盛り上げ役として、「京都丹波まゆまる」着用を行ったほか、自分たちだけでイベントを開催するのではなく、京阪神のイベントにも積極的に参加するなど参加方法も工夫しました。

○イベント出演の際は、アンケートによる京都丹波についての調査を行い、その結果を事業に取り入れるなどの工夫を加えました。

### 背景

◇平成23年1月から亀岡市、南丹市及び京丹波町からなる地域の将来指針「明日の京都丹波ビジョン」から、この地域の新たな魅力を伝える共通の言葉として「京都丹波」が誕生しました。

◇地域の魅力を見つめなおし、新たな魅力として全国、全世界にPRするため、「京都丹波ブランド」の確立に向けて取りくんでいます。

◇このような中、次世代を担う若者にとっての「京都丹波」を夢と誇りを持てる地域として魅力の発信や再発見するため、平成23年5月に地元の若者中心でボランティア組織として「京都丹波まゆまる隊」を結成しました。

### 目的

若者にとっての京都丹波を「夢と誇りを持てる地域」として、楽しく、自発的に魅力の発信や再発見することを目的にしています。

### 取組

◇やどかり作戦で京都丹波PR

京都丹波管内や京阪神地域の各イベント会場で地域団体と連携して京都丹波をPR

・5月、6月 地下鉄京都駅

→ 駅ナカ京のふるさと出会い市で管内道の駅の出張販売と一緒に京都丹波PR

・9月23日 みよこめっせ

→ 「あす KYO フェスタ」で和知人形浄瑠璃の上演と一緒に京都丹波PR

- 10月14日、15日 鉄人28号広場（神戸市長田区）  
→「長田バザール」で(株)丹山酒造の出張販売と一緒に京都丹波 PR
- 10月30日 ガレリアかめおか  
→国民文化祭の「食文化の祭典『里』」でステージ出演
- 2月11日 東京都庁  
→「春の観光物産キャンペーン」で管内ゆるキャラ（明智かめまる、さくらちゃん）と一緒にキャンペーンを盛り上げて京都丹波 PR



◇アンケートを通じた京都丹波調査

「教えて！京都丹波」アンケートを各イベント会場等で実施し、4,019のアンケートを回収

◇京都丹波ロゴマークの人気投票

「京都丹波ロゴマーク」の人気投票も各地で実施し、3,570の投票を回収



(京都丹波ロゴマーク)

## 効果

◇「京都丹波」を管内はもちろんのこと、広く京阪神地域に、さらには東京にも PR 出来ました。

◇「京都丹波」を広く普及させて地域ブランドとして定着させるためには、行政だけでなく地域と協働で取り組む必要がありますが、その中で、「まゆまろ」の着用を通して地域の若者を巻き込むことに成功しました。

## 現在

◇若者 11 名（男性 3 名、女性 8 名）で平成 23 年度同様に様々な地域で京都丹波 PR をしていきます。

## 振り返りと今後の課題

◇平成 23 年度は、特に国民文化祭のイベントに乗じて主に文化団体と連携することになりましたが、平成 24 年度以降はそれ以外にも京都丹波管内の様々な団体と連携して一緒に京都丹波 PR をしていきます。

◇まだまだ行政主導での取組みが中心ですが、将来的には隊員自らイベント参加等の企画立案をしていけるよう土台構築をしっかりと行い、また、様々なジャンルで活躍できるよう隊員の幅が拡充するような積極的な隊員募集を実施します。

### 企画総務課コメント

まゆまろの弟(?)「京丹波まゆまろ」と若者中心のボランティアで構成された「京丹波まゆまろ隊」の活動を紹介してくれました。これは、京都府内だけでなく、大阪、兵庫、東京など、他団体の行うイベントに「やどかり」することによって、お金をかけず、PR を数多くしたという、どこの部署でも真似できるアイデア事業です。

平成 24 年度以降もメンバーを拡充し、活動していくとのことですので、その活動に注目したいと思います。